

って何だろう?

なまえ
名前



に
ん
ち
し
よ
う

「認知症」って何？ なに

にんちしょう
認知症は、「のう」の病気によるものです。

にほん
いま、日本では 85 才いじょうの人は、
にんりにんちしょう
4 人に 1 人が認知症になると言われています。

にんちしょう
認知症は、だれでもなるかもしれないものです。
とくべつなものではありません。

にんちしょう
みなさんも、これから認知症について、
べんきょう
いっしょに勉強していきましょう。



にん ち し ょ う なん

「認知症」って何だろう？

もくじ

ページ

- 「認知症」になると、どうなるの？ ❷
- 「認知症」は、おじいちゃん、おばあちゃんになつたらなるの？ ❸
- 「認知症」は、なあらないの？ ❸
- 一番つらい思いをしているのは、だれだろう？ ❹
- わたしたちには、何が出来るの？ ❺
- いっしょに考えてみよう！ ① ❻
- こんなふうにしてみよう！ ❻
- いっしょに考えてみよう！ ② ❾
- こんなふうにしてみよう！ ❿
- いっしょに考えてみよう！ ③ ❽
- こんなふうにしてみよう！ ❽
- 大切なこと ❽
- 高学年の人へ ❾



「認知症」になると、 どうなるの？

「物わすれ」しやすくなったり、何かするときに
「決める」ことがむずかしくなります。

おこりっぽくなったり、せいかくがかわったりもします。

ほかにも、元気がなくなったり、
夜おそくにおきて「家に帰る」と言い出したり…。
人によって、色々な「しょうじょう」が出てきます。

かぜをひいたら、「鼻水」が出たり、「せき」が出たり、
みんなちがう「しょうじょう」が出るように
認知症も、その人によって
色々な「しょうじょう」が出てきます。





「認知症」は、 おじいちゃん、おばあちゃんに なつたらなるの？

認知症は、おとしよりに多い病気です。

でも、若いときから認知症になる人もいます。



「認知症」は、 なおらないの？

認知症を「なおす」薬はまだありませんが、

早く対応すればなおる認知症もあるので、

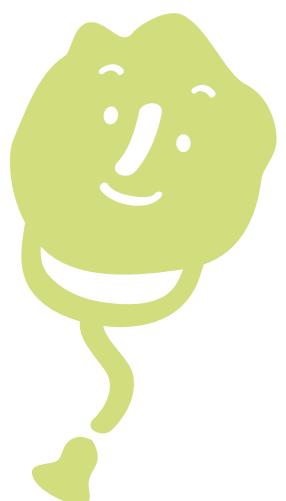
お医者さんにいくことは大切なことです。

薬を飲むことで、しょうじょうが

軽くなったりすることもあります。

あなたが助けてくれることで、しょうじょうが

よくなることもあります。





いち　ばん　　おも

一番つらい思いを しているのは、だれだろう？



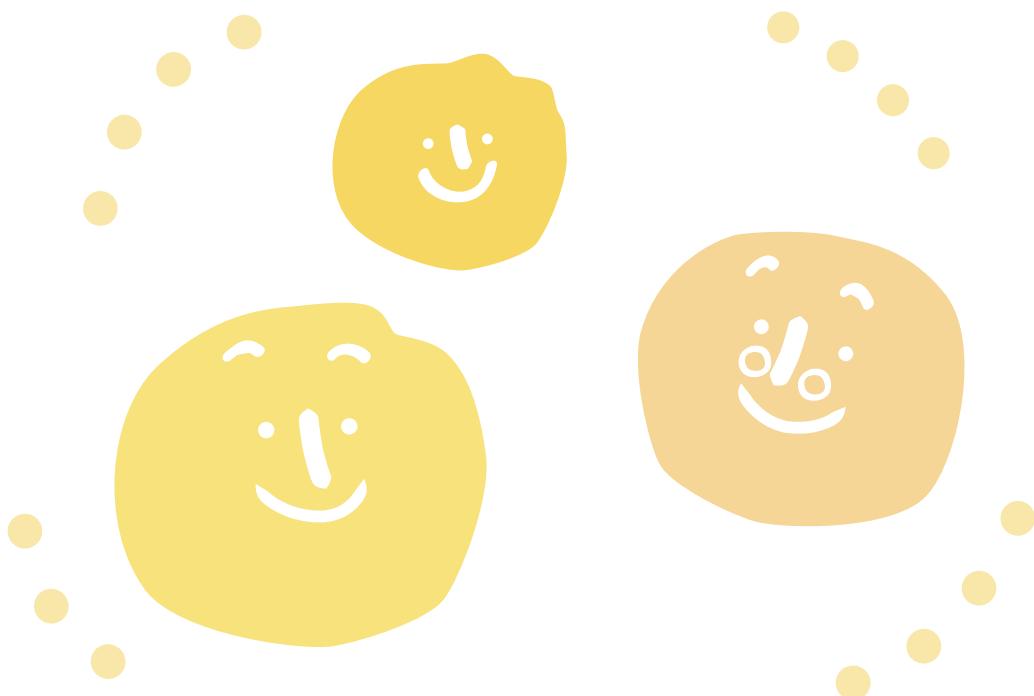
にんちしおう　ひと
認知症になった人は、
なに　わ
何も分からなくなるわけではありません。

いま　で　き
今まで出来ていたことが、
で　き　　わ
出来なくなる。分からなくなる…。

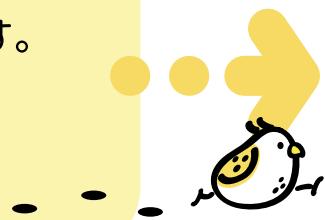
にんちしおう　ひと
認知症になった人は、
き　　せいかつ
ふあんな気もちで、生活しています。

わたしたちには、 なに で き 何が出来るの？

にんちしょう ひと かぞく ひと
認知症の人もその家族の人も、
にんちしょう し おも
「認知症のことをちゃんと知ってほしい」と思っています。
にんちしょう べんきょう にんちしょう ひと かぞく ひと
認知症のことを勉強して、認知症の人もその家族の人も
あんしん せいかつ づく かんが
安心して生活できるまち作りについて、考えてみましょう！



つぎ
次のページから、
にんちしょう か
認知症でよくあるしおりょうを、書いています。
ひと き
その人の気もちになって、
みんなでいっしょに、考えてみましょう。



かんが いつしょに考えてみよう! 1



A 「なにを言ってるの? ここは、おばあちゃんの家だよ。」

B 「それじゃあ、いつしょにいくよ。」

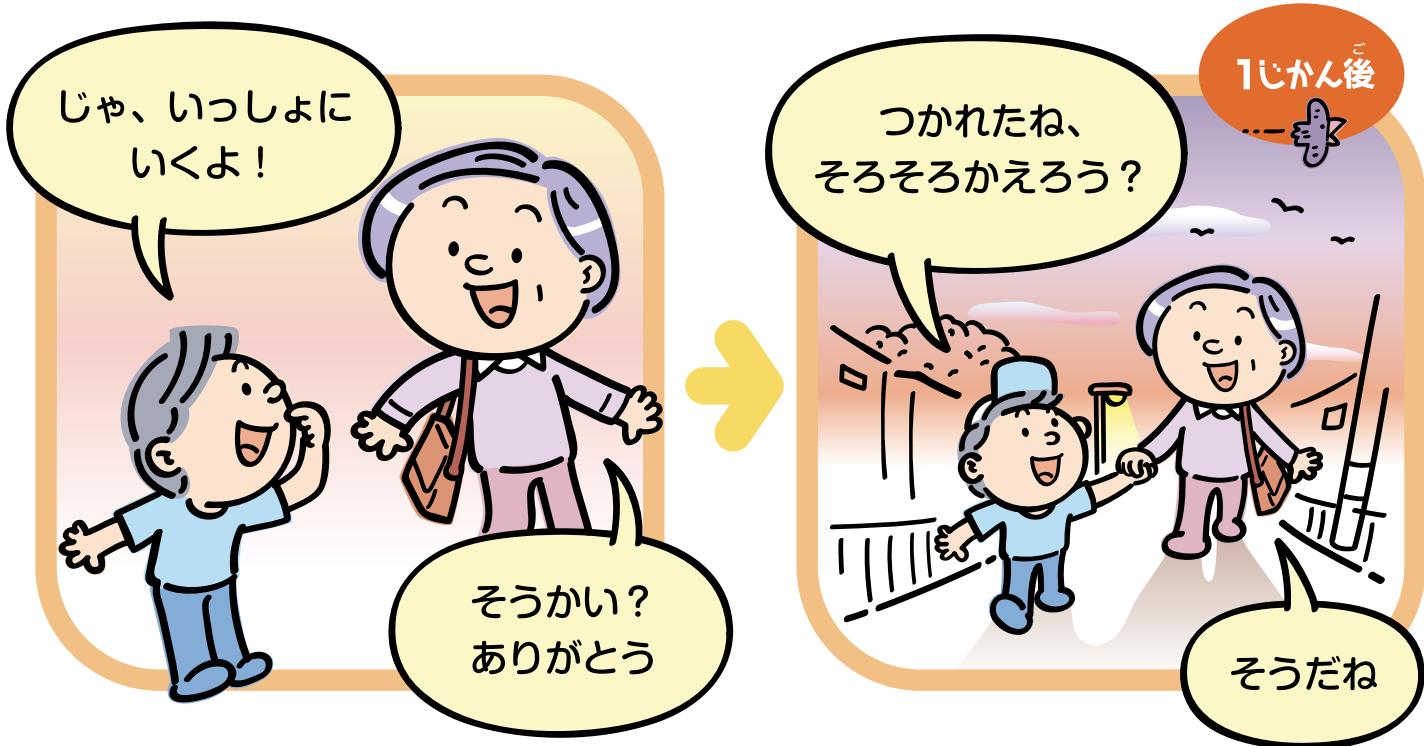
(あなたの考え )

あいてのきもちになって、
考えてみて!
「自分の家じゃない」と思ったら、
あなたならどうする?
どうしてほしい?

夕方、暗くなると
なんだかこわい気もちになったりするよ。



こんなふうにしてみよう!



声をかけてみる 

行動してみる 

- 夕方は、暗くなってきてふあんになる時間です。
暗くなると、いつものけしきも、ちがうけしきに見えてきます。

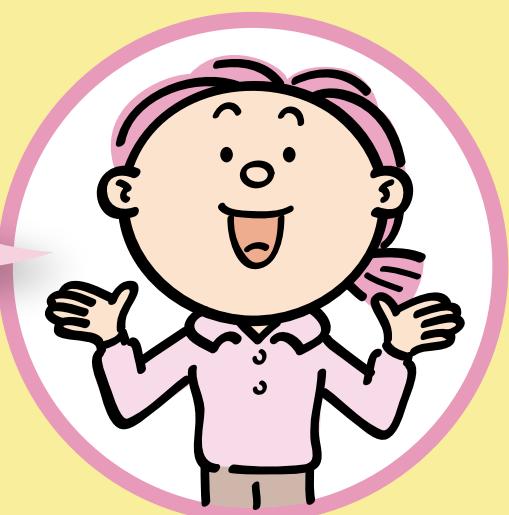
- また、認知症になると、「今の記おく」からわすれていきます。
むかしちがう家にすんでいた人は、「今の家」をわすれてしまって
いるので、むかしの家のことを言っているのかもしれません。

(高学年の人には、21ページを見てみよう!)



にんちしょう ひと あんしん
認知症の人が安心できる
こえ
声かけをすることが
たいじ
大事なんだよ!

こた
答え… B



かんが

いつしょに考えてみよう! ②



こんなふうに言われたら、あなたならどう思う

(あなたの考え )

さいふは、とても
大切なものだよね。
「なくなった！」と思ったら、
き気になるし…。

かばんにいれた時も、何度も
「さいふ入ってるかな？」って
見てしまうの。



こんなふうにしてみよう!



こえ
声をかけてみる

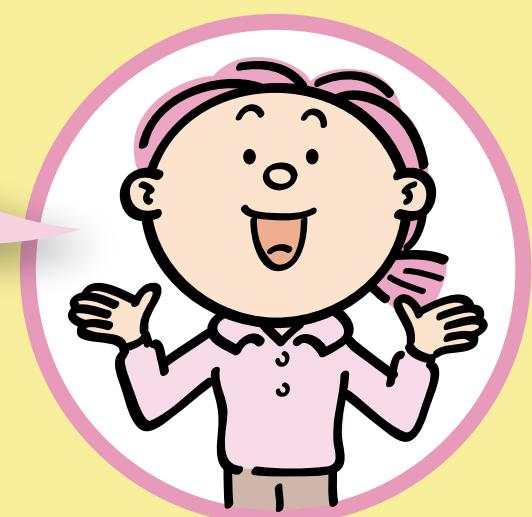
こうどう
行動してみる

●さいふは、ほんにん本人に見つけてもらうことが一番いいので、あなたが
見つけた時は、「あそこもさがしてみよう」と言って、さりげなく
その場所へつれていってあげて、見つけてもらおう。

●もしも、あなたがさいふをなくして、さがしているのに「どうせ、
ほったらかしたんでしょう」と言われたら、どんな気もちになる
かな? 「何でそんなことを言われないといけないんだろう」と
はらが立ったりしませんか?



さいふが見つかると、
「ほっ」とするよね。
安心できる言葉は、
認知症の人の「ふあん」を
取りのぞくことができるの。



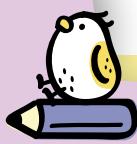
いつしょに考えてみよう! ③



こんなふうに言われたら、あなたならどう思う

(あなたの考え )

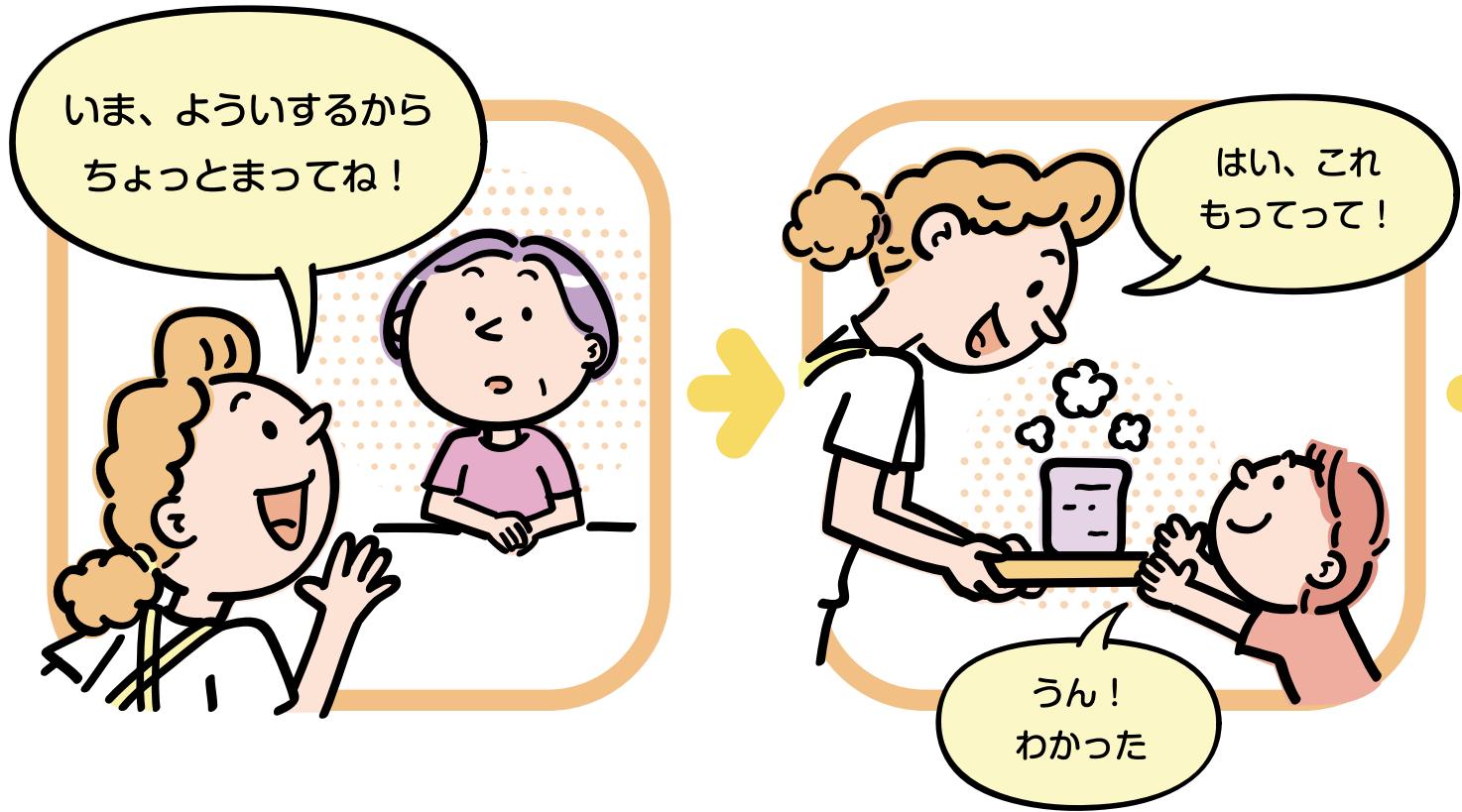
おなかがすいてるから
いってるのであるかな?



でも、「^た食べてない」とも
いってるのであるよね。



こんなふうにしてみよう!



声をかけてみる 

行動してみる 

- 「まだ食べていない」という言葉には、「わたしはちゃんと食べたのかな?」という、ふあんな気もちがあるのかもしれません。まずは落ちついてもらえる声かけをしましょう。
- 8・9ページにも書いてあるように、認知症になると「今の記おく」からわすれていきます。さっき食事をしてそのことをわすれてしまって、「まだ食べていない」と、言ってしまうことがあります。



おちゃをのんで
まっててね!

ありがとう!



やった!

「さっき食べたでしょ」
と言って、食べたことを思い出して
もらおうとするんじゃなく、
落ちついてもらおう。

おたがいにイライラ
たいせつ
しないことが大切だよ。



いま 今まで、認知症のことについて考えました。
にんちしょう
いちばんたいせつ
なん
では、一番大切なことは何でしょう…?



たい

せつ

大切なこと。

にんちしょうひとき
認知症の人の気持ちを
かんが
考えてみましょう。

「だれかにさいふをとられた」「家が分からない」…
これらは、どれも認知症の「のう」の病気からおこ
るでしょうじょうです。

にんちしょうひと
認知症の人は、まわりの人をこまらせたいと思って
いるわけではありません。本当に「さいふをとられた」
「家が分からない」と思っているのに、「ちがうよ！」
と言われたら？

あいての気持ちになって考えてみることが大切です。



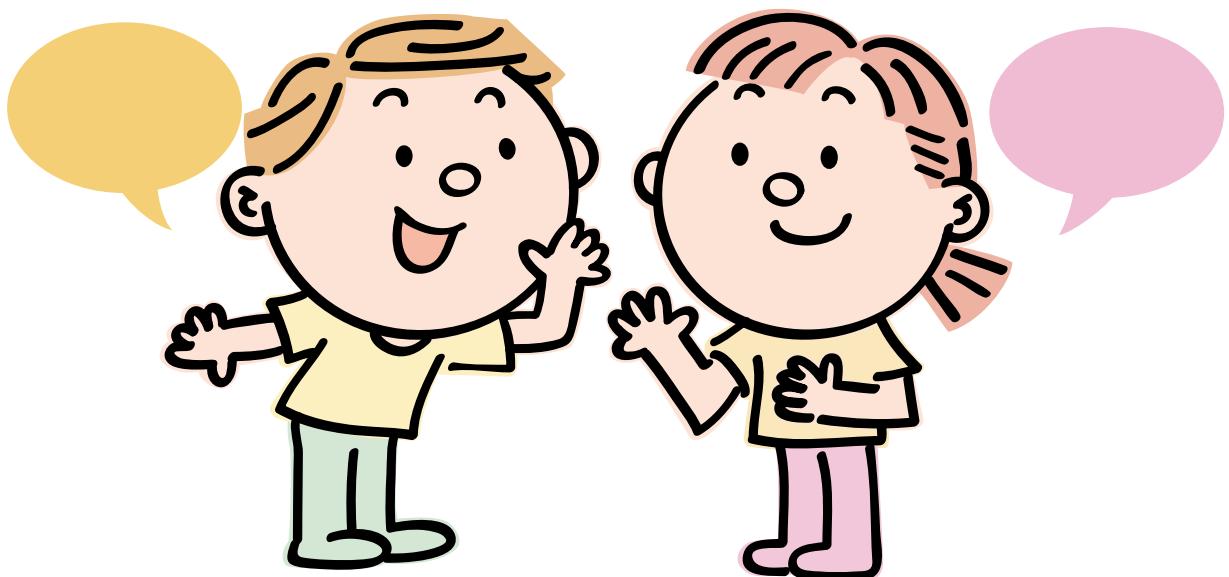


「いつしょに○○しよう!」 のひとこと。

みんなは、こまっているともだちを見たら、どうしますか？

「どうしたの？」 まず、そう声をかけませんか？
認知症の人とその家族の人は、こまっていることがたくさんあります。そんなとき、「どうしました？」
「いつしょにさいふをさがしましょうか？」と、やさしく声をかけてもらえると、心強く思ったり、ホッとしたりします。

(つづく)

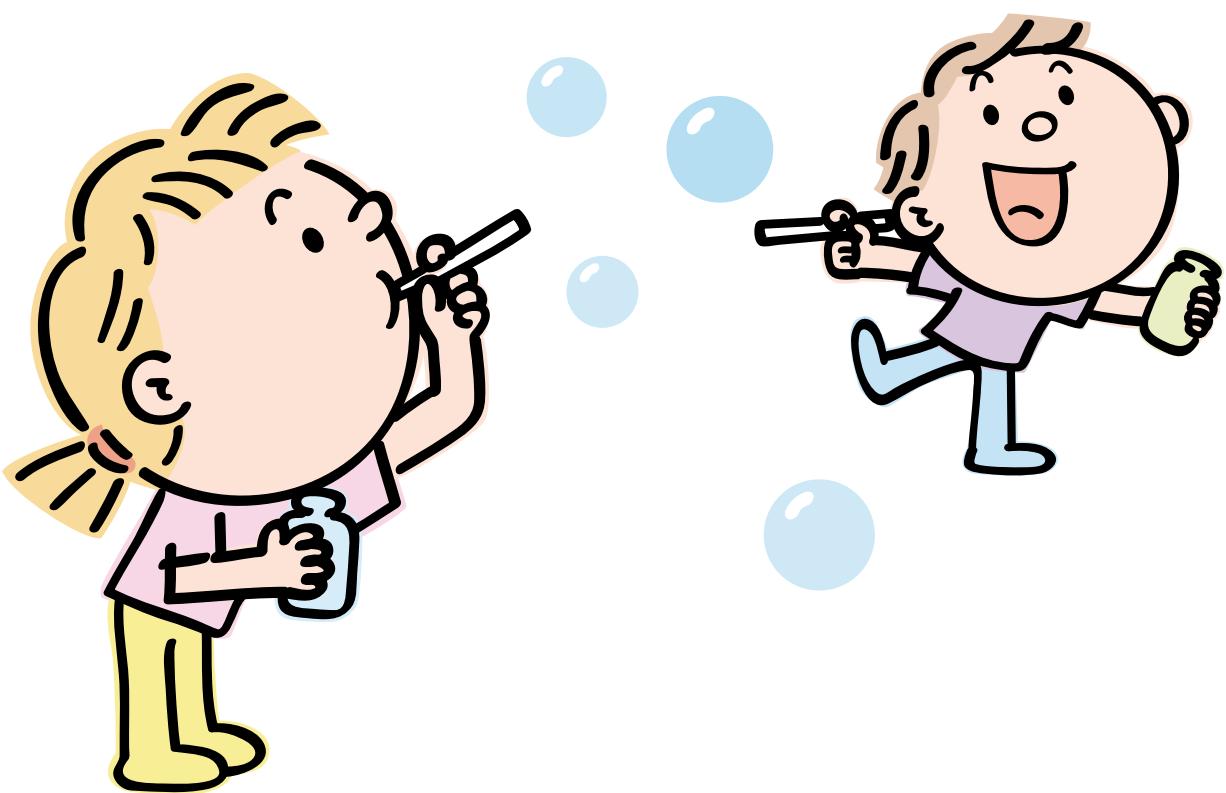


たいせつ 大切なこと (つづき)

・り

だれでもこまっている時には、自分といっしょに
かんがへておもひひとおもひん
考えて助けてくれる人がいると、うれしく思います。
ておもひき
あい手を思いやる、あたたかい気持ちをもつことは、
たいせつ
とても大切なことです。
ひとりき
わたしたち一人ひとりが気をつけることで、
にんちしょうひとかぞく
認知症の人やその家族だけでなく、
みんながくらしやすいまちをつくることができます。

みんなで、すてきな ぶんきょうく 文京区をつくりましょう！





こう がく ねん ひと 高学年の人へ

- 認知症になると「今、自分がどこにいるのか？ 今日は何日なのか？ 何曜日なのか？」が分からぬことがあります。これは、「見当しきしがい」といいます。このしょうじょうが出るために、自分の家がわからなくなる人もいます。
- 認知症の中には、ブログや本で自分の気持ちや思いを出している人がいます。どんなブログや本があるのか、調べてみましょう。



じぶん す ちいき
自分が住んでいる地域の
くち
そうだんまど口をしらべてみよう！

にん ち しょう 認知症のそうだんまど口

こうれいしゃ
高齢者あんしん相談センター（ ）

でんわ
電話（ ）

にん ち しょう 認知症のことがわかるホームページ

「おばあちゃん、どうしたの？」

こうえきしゃだんほうじん にんちしょう ひと かぞく かい
(公益社団法人 認知症の人と家族の会)

<http://www.alzheimer.or.jp/kodomo/index.html>



このパンフレットは、大阪市が作成したリーフレットをもとに承諾を得て、文京区が制作しました。

F0414067